

第6回運営委員会の協議状況

日時 平成16年8月31日(火) 13:30~18:30

場所 ソリオ2(6F会議室)

出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、長峯、岡田、佐々木、中川
奥西、岡、酒井、田村、土谷

(県) 田中、黒田、松本、前川、前田、西村、竹松、木本

内容(協議結果)

次の協議結果を、次回流域委員会に報告、提案する。

1 リバーミーティングの詳細

配席は、委員、行政と住民を区別せず、できるだけ一体化し、車座(平場)で行うイメージとする。委員は、住民から顔が見えるよう横一列とする。行政(事務局を除く)は、一般参加者の中に入り、表示も行わない。

出席委員の紹介は、事務局から、名前のみを紹介する。

リバーミーティングの状況は、議事録として残し、公表していく。名前を公表したくない人は、発言の際に、その旨を申し添えることとする。取り扱い(委員への確認、公表等の事務処理)は、原則として、流域委員会の議事録と同様とする。

(主な意見)

- ・ 配席について、関係行政機関は、一般参加者の中に入れてもらったらどうか。一般参加者として参加してもらっている旨、はじめに言っておけばよいのでは。
- ・ 住民から委員の顔が見えるようにすべき。委員は、横一列が良い。対立構図にならないように、委員席と住民席をコの字型の延長上につながるようにする。
- ・ 議事録は、正確に残すべきだ。今後の参考資料となる。
- ・ 公開されたリバーミーティングであり、その発言は、公開とする。出席していない委員もあり、議事録は、委員会の財産となる。
- ・ 総合治水については、委員長の挨拶の中で、さらっと説明すべき。
- ・ 行政関係機関の出席者については、特に表示等は行わないが、後日、運営委員会に報告する。
- ・ 当日の配付資料(パンフ等)は、河川管理者からの参考資料として配付する。その他、住民から配付希望があれば、原則として、併せて配付する。

2 今後の進め方(具体的展開)

今後の議論の進め方としては、治水を軸にしたフローチャートに基づき、個々の概念的な説明と、流出予測に至る具体的な作業手順を河川管理者がまず説明し、議論をすすめる。同時に、このフローの中では落ちこぼれがちな問題について、武庫川の総合的な現状分析や実態把握をするために、委員会として別途ヒアリングや資料集めなどの調査と議論を行う。方法についてはさらに検討する。また、リバーミーティングを通じて、広く住民の意見を聴き現状と課題の把握に努める。

第6回流域委員会で承認された「今後の進め方」のうち「治水安全度の設定」から「基本高水流量」までの部分について、概念的な説明も含めどのような説明ができるのか、河川管理者から説明する。

第7回流域委員会の議題とともに第8回以降の流域委員会の議事スケジュールについて、継続して次回運営委員会で検討する。

(主な意見)

- ・ 「今後の進め方」のフローについては、具体化(スケジュール等具体的進め方)のた

たき案がないと協議をすすめるににくい。

- ・ 既往災害をデータアップし、現状把握から対策を考えていく方がよいのではないか。
- ・ 基本高水に関する概念的な説明が重要である。また支川や下水については、本川と安全度が違うことについて共通の理解が必要である。なお具体的な検討にあたっては計算、統計による数値を議論する必要がある。
- ・ 都市計画や森林計画については、現状認識・分析の段階で流域委員会から、直接関係課や市にヒアリングを申し込んでもよいのでは。分科会方式より、ヒアリング方式の方がよい。
- ・ 都市計画との関連や流域の文化、森林や環境の問題などは、分科会とか部会で別途調査研究して、本委員会に持ち込む。本委員会でやる場合も、分担してヒアリングを行い、報告してもらうこともある。しかし、本筋は、当面、治水を軸としたフローに基づき、たたき台を出してもらって議論するとしてはどうか。
- ・ 流域の景観、歴史、文化、生態系、森林等の武庫川学を考える気楽な会でやってはどうか。
- ・ 分科会や研究会は、同好会的にやった方がよいのでは。流域委員会がそれをオーソライズすると動きがとれなくなる。集めたデータとして委員会に出すのはよい。
- ・ 方法論については、今日の段階ではペンディングとする。
- ・ 2年間というデッドラインがある。どの辺で、どのような議論をするのか、長期のスケジュールを作る必要がある。
- ・ 運営委員会の宿題としては、第8回委員会以降どのようにしていくのか、議事運営が自転車操業にならないように、具体案を出していくこととする。

3 ニュースレター（「武庫川づくり」）

次号の掲載内容は、佐々木委員から提案のあった、「流域委員会のあらすじ（議事要約）」、「リバーミーティングの開催状況」、「豆辞典（用語説明、生息動植物の紹介等）」、「今後の開催予定等情報提供」を基本とする。また、流域委員の発言欄をつくり、委員の考え方などを順次書いてもらうことも検討する。

タイトルの字体等を統一することとし、今後、具体的に検討する。

4 その他

第7回運営委員会は、9月27日（月）13：30（場所未定）から行う。

第8回流域委員会は、三田市総合福祉センターで開催する。